



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社

コード番号 2108 URL <http://www.nitten.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 憲治

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 小島 洋司

TEL 03-6414-5522

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	27,620	0.7	1,167	137.3	1,267	115.2	793	129.2
26年3月期第2四半期	27,434	△0.7	491	△41.7	589	△36.7	346	△21.3

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 2,204百万円 (48.3%) 26年3月期第2四半期 1,486百万円 (749.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	5.56	—
26年3月期第2四半期	2.43	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	82,026	59,156	72.1	414.43
26年3月期	81,764	57,729	70.6	404.79

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 59,156百万円 26年3月期 57,729百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	5.00	5.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,700	0.3	1,670	△6.0	1,800	△8.7	1,080	△1.0	7.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	153,256,428 株	26年3月期	153,256,428 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	10,513,699 株	26年3月期	10,639,854 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	142,681,568 株	26年3月期2Q	142,452,243 株
----------	---------------	----------	---------------

(注)自己株式には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(従業員持株ESOP信託口)の所有する当社株式が含まれております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2．サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3．四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日~平成26年9月30日)におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動がみられるなか、継続的な金融緩和政策、機動的な財政政策により、公共投資の水準が高く、雇用・所得環境が改善しており、基調的には緩やかな回復傾向であるものの、急激な円安もあり先行き不透明な状況が続いております。

砂糖業界におきましては、消費者の低甘味嗜好に加え、安価な輸入加糖調製品や高甘味度人工甘味料の増加などから砂糖消費量は減少傾向にあり、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比0.7%増の27,620百万円となり、経常利益は前年同期比115.2%増の1,267百万円、四半期純利益は前年同期比129.2%増の793百万円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### <砂糖事業>

海外砂糖相場は、期初17.18セント(ニューヨーク粗糖先物相場(期近)ポンド当たり)で始まり、世界最大の砂糖生産・輸出国ブラジルの天候不順による減産見通しやエルニーニョ現象の発生懸念から、5月に18.25セントまで上昇しました。その後、ブラジルの減産懸念の後退や在庫の余剰感に加えブラジル通貨レアル安から相場は軟調に推移し、9月に13.50セントまで下落しましたが、期末にかけ反発し15.48セントで当第2四半期連結累計期間を終えました。

一方、国内砂糖市況は、期初185~186円(東京精糖上白現物相場、キログラム当たり)で始まり、そのまま当第2四半期連結累計期間を終えました。

ビート糖は、白糖の販売量減少がありましたが、原料糖の販売量増加があり、販売量、売上高ともほぼ前年同期並となりました。

精糖は、消費税増税前の駆け込み需要の反動で家庭用小袋の荷動きが低調となりましたが、業務用の増加があり、販売量、売上高とも前年同期を上回りました。

砂糖セグメントの売上高は前年同期比0.8%増の19,718百万円となり、セグメント利益は、平成25年産ビート糖のコスト減少もあり前年同期比347.5%増の791百万円となりました。

#### <食品事業>

イーストは、販売量、売上高ともほぼ前年同期並となりました。

オリゴ糖等機能性食品は、ラフィノース、DFA等の販売量が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

食品セグメントの売上高は前年同期比2.9%減の1,136百万円となり、セグメント利益は38百万円(前年同期は27百万円のセグメント損失)となりました。

#### <飼料事業>

配合飼料は、販売量の減少および販売価格の下落により、売上高は前年同期を下回りました。

ビートパルプは、平成25年産の繰越在庫の販売を行いました。

飼料セグメントの売上高は前年同期比7.2%増の3,925百万円となり、62百万円のセグメント損失(前年同期は159百万円のセグメント損失)となりました。

#### <農業資材事業>

紙筒(移植栽培用育苗鉢)、農業機材とも、消費税増税前の駆け込み需要の反動もあり、販売量が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

農業資材セグメントの売上高は前年同期比12.8%減の1,420百万円となり、セグメント利益は前年同期比69.2%減の42百万円となりました。

#### <不動産事業>

不動産セグメントの売上高は前年同期比3.6%増の662百万円となり、セグメント利益は前年同期比3.9%増の425百万円となりました。

## &lt;その他&gt;

その他のセグメントの売上高は前年同期比 1.4%減の 756 百万円となり、120 百万円のセグメント損失(前年同期は 119 百万円のセグメント損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比 262 百万円増の 82,026 百万円で、このうち流動資産は、主にたな卸資産の減少により前連結会計年度末比 3,712 百万円減の 39,677 百万円となり、固定資産は、主に投資有価証券の時価の上昇により前連結会計年度末比 3,975 百万円増の 42,349 百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比 1,164 百万円減の 22,870 百万円で、このうち流動負債は、主に短期借入金の減少により前連結会計年度末比 2,307 百万円減の 12,048 百万円となり、固定負債は、主に繰延税金負債の増加により前連結会計年度末比 1,143 百万円増の 10,822 百万円となりました。

純資産は、主にその他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末比 1,426 百万円増の 59,156 百万円となりました。

## キャッシュ・フローの状況

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、11,454 百万円の収入となり、前年同期に比べ、218 百万円の資金の増加となりました。

これは、主にその他の流動資産の増減額の増加により 988 百万円、法人税等の支払額の増加により 604 百万円の資金の減少となりましたが、その他の流動負債の増減額の増加により 1,141 百万円、税金等調整前四半期純利益の増加により 643 百万円の資金の増加となったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、5,476 百万円の支出となり、前年同期に比べ、3,309 百万円の資金の減少となりました。

これは、主に有価証券の収支差により 2,500 百万円、有形固定資産の取得による支出の増加により 1,308 百万円の資金の減少となったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、6,329 百万円の支出となり、前年同期に比べ、102 百万円の資金の増加となりました。

これは、主に長期借入金の収支差により 106 百万円の資金の増加となったことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同四半期連結累計期間末に比べ 446 百万円増加し、9,364 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)及び流動負債(その他)として繰延べております。

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が66百万円、退職給付に係る負債が205百万円増加し、利益剰余金が89百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ16百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,216	2,664
受取手形及び売掛金	7,123	7,518
有価証券	6,500	10,000
商品及び製品	20,835	8,157
仕掛品	1,878	469
原材料及び貯蔵品	2,523	3,582
その他	1,314	7,286
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	43,390	39,677
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,359	11,407
その他(純額)	11,440	13,169
有形固定資産合計	22,799	24,577
無形固定資産		
投資その他の資産	345	281
投資有価証券	14,665	16,817
退職給付に係る資産	338	443
その他	229	235
貸倒引当金	△5	△7
投資その他の資産合計	15,229	17,489
固定資産合計	38,373	42,349
資産合計	81,764	82,026
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	945	1,542
短期借入金	7,798	2,102
未払法人税等	701	457
その他	4,910	7,946
流動負債合計	14,356	12,048
固定負債		
長期借入金	356	416
役員退職慰労引当金	23	13
退職給付に係る負債	4,683	4,963
その他	4,614	5,428
固定負債合計	9,678	10,822
負債合計	24,034	22,870

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,404	8,404
利益剰余金	39,350	39,339
自己株式	△2,236	△2,209
株主資本合計	53,798	53,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,256	5,630
繰延ヘッジ損益	0	0
退職給付に係る調整累計額	△325	△288
その他の包括利益累計額合計	3,930	5,342
純資産合計	57,729	59,156
負債純資産合計	81,764	82,026

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	27,434	27,620
売上原価	20,739	20,090
売上総利益	6,694	7,529
販売費及び一般管理費		
販売費	4,816	4,959
一般管理費	1,385	1,403
販売費及び一般管理費合計	6,202	6,362
営業利益	491	1,167
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	135	151
持分法による投資利益	15	12
その他	38	35
営業外収益合計	196	204
営業外費用		
支払利息	48	47
固定資産処分損	38	43
その他	12	12
営業外費用合計	99	103
経常利益	589	1,267
特別利益		
固定資産売却益	5	-
投資有価証券売却益	1	-
保険差益	-	1
特別利益合計	6	1
特別損失		
固定資産処分損	15	45
その他	0	0
特別損失合計	16	45
税金等調整前四半期純利益	579	1,223
法人税等	233	430
少数株主損益調整前四半期純利益	346	793
四半期純利益	346	793

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	346	793
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,141	1,374
繰延ヘッジ損益	△1	0
退職給付に係る調整額	-	36
その他の包括利益合計	1,140	1,411
四半期包括利益	1,486	2,204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,486	2,204
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	579	1,223
減価償却費	1,040	1,056
持分法による投資損益(△は益)	△15	△12
退職給付引当金の増減額(△は減少)	144	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	106
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	△10
受取利息及び受取配当金	△142	△156
支払利息	48	47
有形固定資産除却損	13	32
売上債権の増減額(△は増加)	△184	△397
たな卸資産の増減額(△は増加)	12,898	13,028
前払費用の増減額(△は増加)	△158	△156
未収入金の増減額(△は増加)	3	3
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△4,799	△5,787
仕入債務の増減額(△は減少)	611	596
未払消費税等の増減額(△は減少)	△167	△11
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,392	2,534
その他	△34	△73
小計	11,235	12,022
利息及び配当金の受取額	141	155
利息の支払額	△54	△50
保険金の受取額	2	19
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△88	△692
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,236	11,454
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,200	△800
定期預金の払戻による収入	400	—
有価証券の取得による支出	△2,500	△3,500
有価証券の売却及び償還による収入	2,500	1,000
有形固定資産の取得による支出	△994	△2,303
預り保証金の受入による収入	—	200
預り保証金の返還による支出	△262	△92
その他	△109	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,167	△5,476

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,920	1,920
短期借入金の返済による支出	△7,620	△7,620
長期借入れによる収入	130	160
長期借入金の返済による支出	△172	△96
配当金の支払額	△707	△709
自己株式の売却による収入	28	26
その他	△10	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,432	△6,329
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,636	△351
現金及び現金同等物の期首残高	6,281	9,716
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,918	9,364

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,565	1,170	3,662	1,628	639	26,667	767	27,434
セグメント間の内部 売上高又は振替高	86	14	7	27	44	180	1,244	1,424
計	19,652	1,184	3,669	1,655	684	26,847	2,011	28,859
セグメント利益 又は損失( )	176	27	159	139	408	538	119	419

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	538
「その他」の区分の利益又は損失( )	119
セグメント間取引消去	72
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	491

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,718	1,136	3,925	1,420	662	26,863	756	27,620
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74	10	4	7	58	156	1,652	1,808
計	19,792	1,147	3,930	1,428	721	27,020	2,409	29,429
セグメント利益 又は損失( )	791	38	62	42	425	1,235	120	1,115

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,235
「その他」の区分の利益又は損失( )	120
セグメント間取引消去	57
その他の調整額	5
四半期連結損益計算書の営業利益	1,167